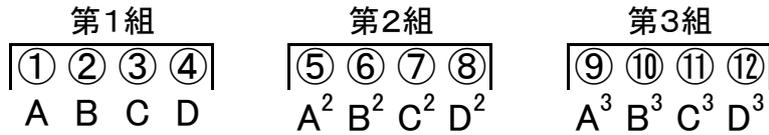


# 【 一級～三段 受審要領 】

## 1. 整列 組合せ

受審番号順に、①～④ ⑤～⑧ ⑨～⑫ というように4名ずつ1組となり、番号の数の小さい受審者から順にその組の A・B・C・D となる。

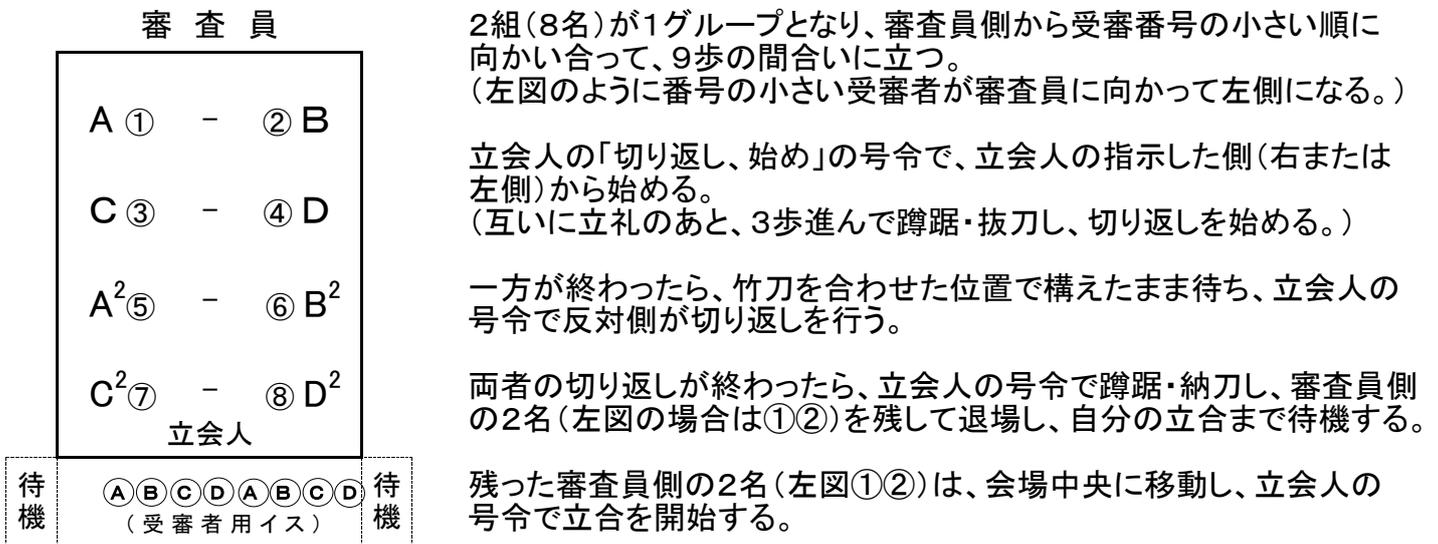


受審者は順番が近づいたら、面を付けて会場前のイス(A・B・C・D表示)に座って待機する。

## 2. 一級・初段 実技審査科目 ( ① 切り返し ② 立合 )

### ① 切り返し・・・9本の切り返し 1回

正面打ちのあと、前へ4本 後へ5本の左右面を打ち、正面打ちで抜け、正面打ちでもどる。  
(通常の切り返しは、正面打ちのあと9本の左右面を2回やることが多いが、審査の時は1回のみ。)



### ② 立合・・・地稽古形式の立合、相手を変えて一人2回行う (時間: 1回 1分程度)

(立合の順番)

- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 1番目 A - B の立合 | 左の順で相手を変えて1人2回ずつ行う。         |
| 2番目 C - B の立合 | Aは、Bとの立合のあと退場し、Dとの立合まで待機する。 |
| 3番目 C - D の立合 | B・C・Dは2回連続して行う。             |
| 4番目 A - D の立合 | (A・Cは審査員に向かって左側、B・Dは右側になる。) |

## 3. 二段・三段 実技審査科目 ( ① 立合 )

### ① 立合・・・地稽古形式の立合、相手を変えて一人2回行う (時間: 1回 1分程度)

立合の順番は、一級・初段と同様